

## 東北・北海道ブロック「林業グループコンクール」で最優秀賞を受賞！

### 1 はじめに

平成25年8月1日に、全国林業研究グループ連絡協議会等主催の「東北・北海道ブロック平成25年度林業グループコンクール」が福島県二本松市で開催され、県内で活動する林業研究グループ会員と一緒に参加しましたので報告します。

### 2 コンクールの概要・結果

林業グループコンクールは、林業グループの発展や資質向上を目的に、昭和47年度から各道県持ち回りで開催されているものです。

今回の東北・北海道ブロックコンクールには、7道県から総勢110名の参加があり、各道県代表の林業研究グループから、日頃のグループ活動状況等の発表がありました。

岩手県からは、盛岡市森林組合青年部が、「森林づくりの絆を目指して～森・人・街をつなぐ『絆の輪』プロジェクト～」と題し、森林整備で発生する蔓や残材などをリースの素材として活用し、リースづくりを通じて森林・林業を普及啓発する取り組みについて発表しました。発表では、リースの飾りとして、アカマツの経木と松ぼっくりで作った「木の花」に関心が集まり、持参したサンプル品には多くの人が集まりました。

この「木の花」は、花びらの形や着色により、花の雰囲気を変えることができ、今年のさんさ踊りでは、「髪飾り」としても披露されています。会場からは「商品化してみては？」との意見もあり、可能性に富んだ「木の花」への期待が寄せられました。

審査員による講評では、リースづくりを通じて、多くの地域住民に森林づくりへの参加を促し、人と森林とのつながりを深めた点が高く評価され、「最優秀賞」を受賞することができました。

### 3 おわりに

今回、東北・北海道ブロックコンクールで最優秀賞を受賞したことにより、平成26年2月中旬に東京都で開催される全国コンクールに出場することとなりました。日頃のグループ活動を、全国にPRできる絶好の機会なので、万全の準備で臨みたいと考えています。

また、今回の受賞がひとつの起爆剤となり、今後、県内各グループの活動がさらに促進されるよう支援していきたいと考えています。



【最優秀賞を受賞！記念撮影】



【「木の花」の髪飾り】